

# InvestHK

---

## 香港のデジタルエコシステムにおける絶好の商機

2021年10月に発表したレポート「Exploring Opportunities in Hong Kong's Digital Ecosystem（香港のデジタルエコシステムにおける商機への探求）」では、香港が安定した成長を示す活気ある市場であり、全ての産業に新しい商機を創出し続けるビジネスの地であることを紹介しています。同レポートでは、香港の電子商取引産業、食品サービス産業、クリエイティブ産業といった3つの活気ある産業に注目し、それぞれの商機について説明しています。

また、香港が世界とアジア太平洋地域間のビジネスをどのように促進しているか、香港のデジタルエコシステムが新型コロナウイルス流行による混乱の中においてもどれだけ迅速に発展したのかも明らかにしています。

同レポートは業界の専門家、エキスパート、トップランナー達の知識、データ、経験に基づき、香港のデジタルサービスの現状について分析しています。

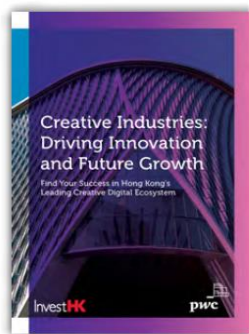
スティーブン・フィリップス（Stephen Phillips）投資推進局局長は、次のように語ります。「デジタル化の傾向は、経済のほとんどすべてのビジネスを支配しており、その重要性は増し続けるでしょう。我々のレポートは、このデジタル化の傾向が電子商取引、食品サービス、クリエイティブ産業のような活気ある分野を含む香港のライフスタイル産業全体に浸透していることを示しています」。

同レポートは、香港が正に世界のトレンドの最先端に立つ、ダイナミックなデジタル世界を展望できるアジアNo.1の場所であることを示しています。企業は香港に拠点を設けることにより、アジア全体およびその先の世界や、特に高い可能性を秘めた中国本土経済、中でも豊富な商機を約束する広東・香港・マカオ大湾区と容易につながることができます。

堅固なデジタルインフラに支えられた国際ビジネスのハブとして、香港の電子商取引市場、食品サービス産業およびクリエイティブ産業は急速に成長し、イノベーションを起こし、変化する消費者の嗜好に適応しています。デジタル化には多くの商機があり、アジアの中心に位置する香港は、企業にとってこの地域全体に事業を拡大するための絶好の拠点となります。

また、同レポートは電子商取引産業やクリエイティブ産業、食品ビジネスの成長に貢献する成長ドライバーを明らかにし、最新の消費者動向について解説の上、今後新たに生まれる商機について予測しています。

レポートのダウンロードはこちら：



## M+がオープン

何もなかったところから造り出された全く新しいエリア「西九龍文化地区（West Kowloon Cultural District (WKCD)）」の恩恵を受けて、香港の芸術文化シーンは飛躍的に拡大しています。

2021年11月12日、完成が待ち望まれていたアジア初のグローバルな現代視覚文化（ビジュアルカルチャー）美術館「M+」がWKCDにオープンしました。

M+の建物の総面積は6万5,000平方メートルで、1万7,000平方メートルの展示スペースを有し、33のギャラリー、3つの映画館の他、視聴覚ライブラリー、学習エリア、ビクトリア湾を望むルーフ・ガーデンを備えています。また、光と天候の移ろいを反映する艶のある粘土質の特殊タイルが施された建物の外観は、伝統的な中国の屋根瓦から着想を得て造られています。

WKCDにある他の芸術文化施設とともに、中核的プロジェクトであり新たな象徴となる建物でもあるM+は、アジアの「文化のハブ」としての香港の地位を強化するでしょう。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

## 国際イベント・スケジュール

1月11日 香港

私人财富管理公会 (PWMA) 主催ファミリーオフィスシンポジウム

PWMA はアジア金融フォーラムのプログラムの一部として、2022年の投資展望やファミリーオフィスの資産配分について議論するシンポジウムを開催します。

主催：私人财富管理公会 (PWMA)

- [pwma.org.hk](http://pwma.org.hk)

1月20日 香港

APB GBA Connect 2022

本オンラインフォーラムでは、2022年の投資戦略における広東・香港・マカオ大湾区 (GBA) 市場の見通しを提供し、最良のアドバイザーサービスを築くことを目的としています。

主催：Asian Private Banker

- [gbaconnect.asianprivatebanker.com](http://gbaconnect.asianprivatebanker.com)

2月18日 香港

Fargo Space 主催ファミリーオフィス・フォーラム

本イベントは中国本土のファミリーオフィス誘致を目的としたイベントです。

主催：Fargo Space

- [fargospace.com.hk](http://fargospace.com.hk)

3月22～26日 香港

Art Central

本イベントでは、世界中からの著名なアーティストとともに、アジアで最も革新的なギャラリーからの次世代のアーティストの作品が展示されます。また、VIP、コレクター、キュレーター、評論家、美術愛好家に向けて、国際的な視点に立った現代アートの社会的実践について紹介します。

開催場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：Art Central

- [artcentralhongkong.com](http://artcentralhongkong.com)

3月24～26日 香港

Art Basel 香港

本イベントは世界最高峰の近現代美術作品を擁し、歴史的な作品から新興のアーティストやギャラリーの作品まで、アジアと世界の多様なアートシーンを独自の視点で紹介します。

開催場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：MCH Group Asia Ltd.

- [artbasel.com/hong-kong](http://artbasel.com/hong-kong)

3月25日 香港

在香港ロシア総領事館主催 金融サービス・ファミリーオフィスウェビナー

本ウェビナーは在香港ロシア総領事館主催が主催し、ロシアから香港への直接投資の誘致を目的として開催されます。

主催：在香港ロシア総領事館

- [hongkong.mid.ru/web/hongkong-en](http://hongkong.mid.ru/web/hongkong-en)



香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

最新イベント情報は、investhk.gov.hk をご覧ください。



特集：

## 第14次5か年計画が香港にもたらす機会

国務院香港マカオ事務弁公室の代表団は8月23日、香港で第14次国家5か年計画について講演しました。講演のテーマは、「第14次国家5か年計画の機会を積極的につかむ～中国全体の発展に進んで融合する香港」です。

### 背景

中華人民共和国の国民経済・社会発展第14次5か年計画および2035年長期目標（以下、「本計画」）は、2021年から2025年までの国家的発展の青写真と行動指針を示しています。本計画は、中国全体の発展における香港の役割と位置を定め、香港に重要性の高い様々な分野での発展と機会がもたらされることを示しています。

### 香港の競争優位性の強化と推進

本計画は、金融、輸送、貿易の国際センター、そしてアジア太平洋地域における法務・紛争解決サービスの国際センターとしての香港の地位向上を継続的に支援することに加え、次の4つの新興分野における香港への支援を初めて表明しました。国際航空ハブ、イノベーションとテクノロジーの国際ハブ、地域内の知的財産取引センターおよび中国と世界との芸術文化交流ハブとして、香港の地位向上のための支援を行うというものです。本計画はまた、広東・香港・澳門大湾区（GBA）の高度な開発への支援にも言及しています。

### 本計画における香港の8つの役割

#### 1. 国際金融センター

- オフショア人民元取引のグローバル・ハブ、国際資産運用センターおよびリスク管理センターとしての香港の地位を強化
- 香港と中国本土の金融市場の相互アクセスを深化、拡大
- 香港をグリーン金融センターに発展させ、中国の生態系保全およびグリーンな発展を促進
- 金融セクターを発展させる強力な原動力であるイノベーションとテクノロジー（I&T）につき、すでに実現した以下の発展をより強固なものにする。600社以上のフィンテック企業やスタートアップ企業の本拠地、オンライン銀行8行とオンライン保険会社4社の設立、即時決済システム（Faster Payment System）の開始

#### 2. 国際輸送センター

- 国家の計画と必要性に応じた海事産業と物流業の発展を促進。特に、船舶管理、船舶金融・リース、海上保険、海事関連の法務・紛争解決サービスなど、高付加価値の海事・物流サービスの発展を促進



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

- 香港の競争上の優位性を維持し、国際海事センターとしての地位を固めることを目指して、政策研究を積極的に行うとともにスマートポートの開発や船舶輸送のデジタル化を促進

### 3. 国際貿易センター

- 一帯一路構想とGBA開発という国家の経済開発計画の2大エンジンがもたらす事業機会を活用
- 世界中の貿易相手国との緊密で安定的な経済・貿易関係を構築し、維持するよう努め、自由貿易協定や投資協定を締結するとともに、香港経済貿易代表部の海外ネットワークを拡大

### 4. アジア太平洋地域における法務、ディール・メイキングおよび紛争解決の国際ハブ

- 民事や商事の事案での司法や紛争解決の問題に関して、中国本土との取り組みをさらに強化し、また国際的、地域的な法的協力を一層進める
- GBA内および一帯一路沿線地域における、香港のディール・メイキングや紛争解決のサービスを継続して強化、促進

### 5. 国際航空ハブ

- 現在建設中の3滑走路体制について試運転が全て完了すれば、香港国際空港（HKIA）は、年間で約1億人の旅客にサービスを提供し、約900万トンの貨物を取り扱うことができ、さらにサービスを拡大するための設備能力も備える予定
- 高度物流センターは2023年にHKIAに完成予定
- 港珠澳大橋（Hong Kong-Zhuhai-Macao Bridge）の香港口岸人工島（Hong Kong Boundary Crossing Facilities Island）の開発や、HKIAの3滑走路体制、高度物流センター、SKYCITYプロジェクトおよび空港島にあるアジアワールド・エキスポの将来的な開発によって、この地域は「空港都市」へと変容する予定

### 6. 国際I&Tハブ

- 香港は1,100億香港ドル（約141億米ドル）以上の投資を行い、一連の関連措置を実施
- 地場のスタートアップ企業数は2014年から3倍に膨らみ、2020年で3,360社強、人員は4倍以上に増加
- ベンチャーキャピタルは2014年から約7倍に増加し、2020年で約100億香港ドルに到達
- 11社のユニコーン企業が香港で出現
- 港深創新及科技园（Hong Kong-Shenzhen Innovation and Technology Park）の開発を押し進め、開発の第一弾として、2024年から2027年までに順次ビル8棟を完成

### 7. 国際文化交流のための東西融合センター

- 西九龍文化地区（West Kowloon Cultural District：WKCD）は、世界最大級の文化インフラ・プロジェクト。伝統的な地場文化と国際的、現代的要素が混じり合うWKCD



は、東洋が西洋と融合する大都市としての香港の独特な特徴を示す場となっており、香港を世界で最も活気に溢れた芸術文化ハブの一つにしている

- WKCDは、ワールドクラスの統合芸術文化施設を提供。近現代のビジュアル・カルチャー美術館M+が2021年末に開館した。故宮博物院の選りすぐりの美術品を展示する予定の香港故宮博物院が2022年半ばにオープン予定

## 8. 地域内の知的財産（IP）取引センター

- 香港は、域内IP取引のハブとして知られるようになるため、あらゆる方面で努力を重ねる予定
- 香港政府は、企業や専門サービス業者がGBA開発のもたらす機会を活用し、また国際市場への参入のためにIP保護やIP取引に関して香港を利用できるよう支援するため、IPの保護や管理、商業化に関して中国本土やマカオ当局との協力を大幅に強化する予定



## インベスト香港顧客紹介

### ■日本

Rights & Brands Asia Limited は、香港に拠点を置く、ブランド及びアニメキャラクターのライセンスエージェントです。北欧発祥の人気キャラクター「ムーミン」の中華圏市場への展開も手掛けています。

2021年9月に設立された同社は、PPW Sports & Entertainment (Hong Kong) Limited (多様な IP のブランドマネジメントとライセンス事業を行うエージェント。以下「PPW 社」)、伊藤忠商事株式会社 (日本の総合商社。以下「伊藤忠商事」)、Moomin Characters Oy Ltd. (ムーミンの著作権管理者) と R & B Licensing AB (ムーミンのグローバルマスターライセンス) の4社による合併企業です。

PPW 社および伊藤忠商事が培った経験や信用力を活用し、ムーミンの権利所有者からの資本参加という強力な支援のもと、当社は顧客に対し、コンテンツの価値を最大限に高めるサービスを提供します。

ライセンス事業

[rightsandbrands.com/asia](https://rightsandbrands.com/asia)



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局